総合政策学部　経営学科
複数の「新しい能力」への対応

経営学科 卒業の認定に関する方針	学士力（学士課程答申）													社会人基礎力												日本学術会議 大学教育の分野別質保証のための 教育課程編成上の参照基準 経営学分野 4(2)経営学の学びを通じて獲得すべき基本的能力（獲得されるであろう具体的能力）												
	知識・理解		汎用的能力					態度・志向性					統合的な学習経験と創造的思考力	前に踏み出す力			考え抜く力			チームで働く力						グローバルに展開している継続的事業体を世界的視野において経営することができる	生産工程や流通過程を設計し、問題が発生したときに解決することができる	組織における個人や集団を組織目標に向かって動機づけ、組織を活性化することができる	継続的事業体を適切に組織し、その組織を管理することができる	顧客のニーズを把握し、顧客に満足な商品を開発することができる	継続的事業体の資金の流れを把握し、経営活動の結果を貨幣的に測定することができる	営利・非営利の継続的事業体を企画し、運営することができる	経営学とは何か、経営とは何かについて、それを専門としない者に説明できる	特定の経営課題について、文献やデータを収集し、吟味し、解決できる	営利・非営利の継続的事業体の環境適応性について充分に理解し、継続的事業体を適切に組織化できる	新たに生起する経営の事象に関して適切な解釈を与え、必要があれば自ら意見を表明したり、実践に関与したりできる	経営に関する他者の意見を理解し、適切に評価し、位置づけることができる	営利・非営利の継続的事業体の経営の現状および今後について、実証的な裏付けのある見解を持つことができる
(主文) 経営（マネジメント）の観点から、グローバル社会の中で企業等が直面している諸問題に取り組み、その具体的な解決策を提示できる能力を備えた人材を養成します。	(1) 多文化・異文化に関する知識の理解	(2) 人類の文化，社会と自然に関する知識の理解	(1) コミュニケーション・スキル（日本語と特定の外国語を用いて、読み、書き、聞き、話すことができる。）	(2) 数量的スキル（自然や社会的事象について、シンボルを活用して分析し、理解し、表現することができる。）	(3) 情報リテラシー（情報通信技術（ＩＣＴ）を用いて、多様な情報を収集・分析して適正に判断し、モラルに則って効果的に活用することができる。）	(4) 論理的思考力（情報や知識を複眼的、論理的に分析し、表現できる。）	(5) 問題解決力（問題を発見し、解決に必要な情報を収集・分析・整理し、その問題を確実に解決できる。）	(1) 自己管理力（自らを律して行動できる。）	(2) チームワーク，リーダーシップ（他者と協調・協働して行動できる。また、他者に方向性を示し、目標の実現のために動員できる。）	(3) 倫理観（自己の良心と社会の規範やルールに従って行動できる。）	(4) 市民としての社会的責任（社会の一員としての意識を持ち、義務と権利を適正に行使しつつ，社会の発展のために積極的に関与できる。）	(5) 生涯学習力（卒業後も自律・自立して学習できる。）	これまでに獲得した知識・技能・態度等を総合的に活用し、自らが立てた新たな課題にそれらを適用し、その課題を解決する能力	主体性	働きかけ力	実行力	課題発見力	計画力	創造力	発信力	傾聴力	柔軟性	状況把握力	規律性	ストレスコントロール力															
1.基本的語学力、情報処理能力を修得し、経営、マーケティングおよび財務・会計に関する基礎知識について説明できる。（知識・理解）	●	●																								●					●		●					
2.グローバル化する社会にあって、経営（マネジメント）という観点から課題を解決する調整能力を備えている。（思考・判断）			●	●	●	●	●							●	●	●											●										
3.実務に対応した専門性を高めようとする真摯な態度と意欲を身につけている。（態度）								●	●	●	●	●					●	●	●									●		●		●		●				
4.地域経済において直面する問題を解決するコミュニケーション能力とリーダーシップを備えている。（技能）													●							●	●	●	●	●	●				●						●	●	●	●

総合政策学部　法律行政学科
複数の「新しい能力」への対応

法律行政学科 卒業の認定に関する方針	学士力（学士課程答申）													社会人基礎力												日本学術会議 大学教育の分野別質保証のための 教育課程編成上の参照基準 法学分野 4(2)法学を学ぶすべての学生が身に付けることを目指すべき基本的な素養（考えられる基本的な素養の内容）						
	知識・理解		汎用的能力					態度・志向性					統合的な学習経験と創造的思考力	前に踏み出す力			考え抜く力			チームで働く力						ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ
	(1)	(2)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)		主体性	働きかけ力	実行力	課題発見力	計画力	創造力	発信力	傾聴力	柔軟性	状況把握力	規律性	ストレスコントロール力	国家における法規の構造や国家制度の理解、基本的人権の思想やその現実のあり方などについての基本的な理解	法律条文や規則などの正確な読解能力	司法機関、準司法機関が社会で果たしている役割とその意義の理解	法規範が前提とする価値原理を理解し、それに関連した具体的で的確な判断をすることができる能力	意見の多様性を認めながらも、一定の結論が選び取られる過程での論理的な説明能力	多様な見解の間での利害の得失を分析し、その間を調整する能力	グローバル化する社会における紛争解決の難しさについての理解
（主文） 法的思考能力（リーガルマインド）を基礎として、法制度を理解し、安心・安全な社会の実現のために活動している諸機関において活躍できる人材を養成します。	多文化・異文化に関する知識の理解	人類の文化，社会と自然に関する知識の理解	コミュニケーション・スキル（日本語と特定の外国語を用いて、読み、書き、聞き、話すことができる。）	数量的スキル（自然や社会的事象について、シンボルを活用して分析し、理解し、表現することができる。）	情報リテラシー（情報通信技術（ＩＣＴ）を用いて、多様な情報を収集・分析して適正に判断し、モラルに則って効果的に活用することができる。）	論理的思考力（情報や知識を複眼的、論理的に分析し、表現できる。）	問題解決力（問題を発見し、解決に必要な情報を収集・分析・整理し、その問題を確実に解決できる。）	自己管理力（自らを律して行動できる。）	チームワーク，リーダーシップ（他者と協調・協働して行動できる。また、他者に方向性を示し、目標の実現のために動員できる。）	倫理観（自己の良心と社会の規範やルールに従って行動できる。）	市民としての社会的責任（社会の一員としての意識を持ち、義務と権利を適正に行使しつつ，社会の発展のために積極的に関与できる。）	生涯学習力（卒業後も自律・自立して学習できる。）	これまでに獲得した知識・技能・態度等を総合的に活用し、自らが立てた新たな課題にそれらを適用し、その課題を解決する能力																		
1.法律・行政に関する基礎的知識を身につけ、社会の実態を広い視野から理解することができる。（知識・理解）	●	●											●	●	●	●											●					
2.法制度と行政をめぐる様々な現代的問題について、論理的思考に基き、適切な対応を提案することができる。（思考・判断）			●	●	●	●	●	●				●					●	●	●							●	●	●	●	●	●	
3.安心・安全な社会の実現に向けて主体的に取り組む姿勢と、多面的総合的に判断する公平性を身につけている。（態度）			●			●		●	●	●	●	●					●	●	●									●	●		●	●
4.社会に貢献するための、法的思考能力（リーガルマインド）と政策立案能力を備えている。 （技能）													●							●	●	●	●	●	●					●		●

総合政策学部　総合政策学科
複数の「新しい能力」への対応

総合政策学科 卒業の認定に関する方針	学士力（学士課程答申）													社会人基礎力														日本学術会議 大学教育の分野別質保証のための 教育課程編成上の参照基準 政治学分野 4(3)政治学を学ぶすべての学生が身に付けることを目指すべき基本的な素養 （獲得すべき能力）				日本学術会議 大学教育の分野別質保証のための 教育課程編成上の参照基準 経済学分野 4(2)経済学分野の学びを通じて獲得すべき基本的な能力（経済学に固有な能力）					
	知識・理解		汎用的能力					態度・志向性					統合的な学習経験と創造的思考力	前に踏み出す力			考え抜く力			チームで働く力																
	(1) 多文化・異文化に関する知識の理解	(2) 人類の文化，社会と自然に関する知識の理解	(1) コミュニケーション・スキル（日本語と特定の外国語を用いて、読み、書き、話すことができる。）	(2) 数量的スキル（自然や社会的事象について、シンボルを活用して分析し、理解し、表現することができる。）	(3) 情報リテラシー（情報通信技術（ICT）を用いて、多様な情報を収集・分析して適正に判断し、モラルに則って効果的に活用することができる。）	(4) 論理的思考（情報や知識を複眼的、論理的に分析し、表現できる。）	(5) 問題解決力（問題を発見し、解決に必要な情報を収集・分析・整理し、その問題を確実に解決できる。）	(1) 自己管理力（自らを律して行動できる。）	(2) チームワーク，リーダーシップ（他者と協調・協働して行動できる。また、他者に方向性を示し、目標の実現のために動員できる。）	(3) 倫理観（自己の良心と社会の規範やルールに従って行動できる。）	(4) 市民としての社会的責任（社会の一員としての意識を持ち、義務と権利を適正に行使しつつ，社会の発展のために積極的に関与できる。）	(5) 生涯学習力（卒業後も自律・自立して学習できる。）	これまでに獲得した知識・技能・態度等を総合的に活用し、自らが立てた新たな課題にそれらを適用し、その課題を解決する能力	主体性	働きかけ力	実行力	課題発見力	計画力	創造力	発信力	傾聴力	柔軟性	状況把握力	規律性	ストレスコントロール力	国内政治と国際政治とが現実にどのように動いているのかについて、専門的研究にもとづいた知識	自らが地域や国家の政治に対して、市民参加の回路を通じて、いかに行動するかについての判断力	自分とは意見の異なる他者をいかに説得して合意を調達するか、多様な個人や集団の共存と統合を目指す営みについての知識	ひとりの市民として政治の現実について成熟した選択を行えるような判断力	抽象的思考	演繹的思考	帰納的思考	数量的スキル	問題設定能力	全体を総合的に把握する能力
（主文） 学際的・総合的観点から、地域の官民の諸機関において、地域社会が直面している諸問題に取り組み、その具体的な解決策を提示することのできる人材を養成します。																																					
1.政治・経済に関する基礎的知識を身につけ、各分野における政策形成の過程を理解している。（知識・理解）	●	●																									●										
2.諸問題を考察し、実践的なプロセスにより問題解決に導く提案ができる。（思考・判断）						●	●										●	●	●	●		●	●					●			●	●	●			
3.地方を創生し活性化する必要性と重要性を認識し、地域社会の中でリーダーシップを発揮することで地域社会のニーズに応える姿勢を身につけている。（態度）								●	●	●	●			●	●						●	●		●	●			●								●
4.多分野に関連し複雑化する諸問題に対し、グローバル的、総合的な視点から解決策を提案できる能力を備えている。（技能）			●	●	●		●					●	●			●														●				●	●	